# H07 リレーショナルデータベース管理システム開発

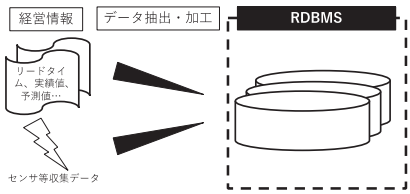
経営学部・経営学科・講師・福澤　和久
k-fukuzawa@aitech.ac.jp

キーワード　経営データ、データベース、RDBMS、SQL、PostgreSQL

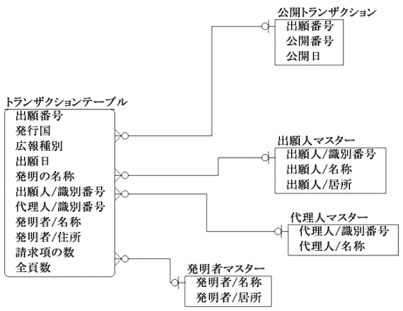
## 概要

社内等でデータを収集しているものの、Excelによる管理にとどまっていたり、データの在処が点在しているといったことが様々な場面で見受けられます。リレーショナルデータベース管理システム（以下、RDBMS）は、各所に点在したデータの収集及び一括管理をすることにより、データの一貫性・整合性を保持します。また、データベースを利用した分析を通じて、経営意思決定に寄与できることが望ましいです。

RDBMS は、業務内容および開発目的の把握から着手し、概念設計（要件の明確化、ER 図の作成）、論理設計（テーブル定義、正規化）、物理設計（データ型の決定、パフォーマンス設計）といった段階を経て開発を行います。そのため、目的の共有や業務内容の把握を行うためのヒアリング等が重要となります。




RDBMS 設計例




ER 図例

## セールスポイント

1．目的に即したRDBMSの提案および開発
2．オープンソースのRDBMS「Postgre（ポスグレ）」によるデータベース開発実績
3．データの抽出・加工技術

## 企業等での活用例、今後の展望等

1．経営活動の意思決定への寄与
2．Excel等で管理していたデータの集約
3．データ活用方法の提案

## 参考資料

福澤和久、後藤時政、羽田裕、野中尋史：「事業性評価手法の拡張を目指した経営データ基盤設計」日本知財学会第17回日本知財学会　学術研究発表会（2019年12月8日）
研究代表者HP（リサーチマップ）：https://researchmap.jp/k-fukuzawa/